

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名: レジアンダー厚付速硬化粉体用 硬化遅延剤
会社名: アサヒボンド工業株式会社
住所: 東京都板橋区大谷口北町3番7号
電話番号: (03)3972-4929
FAX番号: (03)3972-4583
担当部門: 営業部
緊急連絡先: 営業部
電話番号: (03)3972-4929
推奨用途: 建築土木材料
使用上の制限: 推奨用途以外への使用を禁止する。
整理番号 10716

2. 危険有害性の要約

特定の危険有害性 : 食品添加物、化粧品原料、医薬品原料などに使用

- (1) GHS分類(自社分類) 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2A
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露) 区分3(気道刺激性)
- (2) GHSラベル要素
絵表示



注意喚起語 警告
危険有害性情報 強い眼刺激
呼吸器への刺激のおそれ

注意事項

- 【安全対策】 粉塵、煙、ガス、ミスと、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
取り扱い後はよく手を洗うこと。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- 【応急処置】 眼に入った場合: 水で15分以上注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用
していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。
吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 【保管】 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
直射日光や、高温等が避けられる屋根付き倉庫に保管貯蔵すること。
- 【廃棄】 都道府県/市町村の規則に従って内容物、容器を廃棄すること。

- (3) GHS分類に該当しない危険有害性
多量に吸入、経口摂取すると、咳、悪心、嘔吐等を起こす恐れがある。

3. 組成及び成分情報

- (1) 単一物質又は混合物の分類 : 混合物
(2) 組成及び成分情報

成分の化学名 又は一般名	化学式又は構造式	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.	PRTR法
クエン酸無水、クエン酸	C ₆ H ₈ O ₇	(2)-1318	77-92-9	該当しない
クエン酸三ナトリウム	Na ₃ C ₆ H ₅ O ₇	(2)-1323	68-04-2	該当しない

4. 応急措置

吸引した場合

吸入し気分が悪くなったときは、直ちに空気の新鮮な場所へ移動させて、安静・保温に努め、速やかに医療処置を受ける。

皮膚に付着した場合

皮膚を流水と石鹼で洗う。

皮膚刺激などが生じたときは、医師の処置を受ける。

眼に入った場合

直ちに、清浄な水で15分以上注意深く洗う。その際、顔を横に向けてからゆっくり水を流す。水道の場合、水でゆるく流す程度に洗う。高い水圧水で洗浄すると、かえって目に障害を起すことがあるので注意する。

まぶたを親指と人差し指で広げ眼を全方向に動かし、眼球、まぶたの隅々まで水がよく行きわたるように洗浄する。次に、コンタクトレンズを着用していて固着していなければ除去し、洗浄を続ける。眼刺激が持続するときは、医師の診断、治療を受ける。

飲み込んだ場合

無理に吐かせず、直ちに医師の手当を受ける。

意識のある場合は多量の水を飲む。

予想される急性症状及び遅発性症状

情報なし。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

救助者は、必要に応じて保護マスク、手袋等の保護具を着用する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

噴霧水、泡、粉末、二酸化炭素、粉末消火剤、乾燥砂

使ってはならない消火剤

棒状放水(本品があふれ出し、火災を拡大するおそれがある。)

特有の消化方法

風上から消化活動をする。

環境への流出をできるだけ防止する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

適切な保護具を着用する。

関係者以外の立入りを禁止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

製品や、洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処する。

危険でなければ漏出源を遮断し、漏れを止める。

漏洩物を掃き集め、密閉できる空容器に回収する。漏洩物が飛散する場合は、

水を散布し湿らしてから回収する。

二次災害の防止策

発塵しないよう、速やかに回収する。

排水路、側溝等への流入を防ぐ。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策

粉じん、ミスト、蒸気、ガスの発生を防止する。

本製品を取り扱う場合、必ず保護具を着用する。

安全取扱い注意事項

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。

屋外又は換気の良い区域でのみ使用する。

容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取り扱いをしてはならない。

接触回避

皮膚、粘膜または着衣に触れたり、目に入らぬよう保護具を着用すること。

衛生対策

取扱い後は、手、顔等はよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない事。

取り扱うときには、飲食または喫煙をしないこと。

保管

安全な保管条件	直射日光を避け、室温で密閉して保管する。 酸性物質と一緒に保管しない。 施設等により、部外者が触れない措置を講ずる。 子供の手の届かないところに保管すること。
安全な容器包装材料	ポリエチレン、ポリプロピレン、ガラス等の容器で保管する。 強酸化剤、強アルカリ性物質、金属に触れさせない。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

局所廃棄、洗眼及び身体洗浄のための設備を設けることが望ましい。

管理濃度

設定されていない。

保護具

呼吸器の保護具:防塵マスク等を着用する。
手の保護具:保護手袋等の保護具を着用する。
目の保護具:保護眼鏡等の保護具を着用する。
皮膚及び身体の保護具:保護衣等を着用する。

衛生対策

取り扱い後は手洗い、うがい、洗顔等を十分行い、皮膚や粘膜から洗い流す。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	結晶、結晶性粉末
色	白色
臭い	無臭
融点・凝固点	約 153℃
沸点、初留点及び沸騰範囲	分解(175℃)
可燃性	データなし
爆発下限界および爆発上限界/可燃	データなし
引火点	100℃
自然発火点	1010℃
分解温度	175℃(アコニット酸に変化)
pH	約 2
動粘性率	データなし
溶解度	水に極めて溶けやすい。(59.2g/100 20℃) エタノールに極めて溶けやすい。 エタノールに溶けやすい。
n-オクタール/水分配係数	Log Po/w=-1.7
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	1.665g/cm ³
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
その他	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	175℃の可熱で分解し、アコニット酸に変化する。
化学的安定性	通常の手取り扱い条件においては安定。
危険有害反応可能性	強酸化剤と混触すると激しく反応することがある。 水溶液は酸性のため、金属を腐食することがある。 強アルカリ性物質と混触すると激しく反応することがある。 粉末で空気と一定割合で混合すると、粉じん爆発の可能性が有る。
避けるべき条件	日光・高熱・湿気
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性 経口 LD ₅₀	ラット LD50 > 5040mg/kg ※1 ※1) 生体内に広く存在し毒性は低いため、区分外とした。
皮膚腐食性・刺激性	ウサギ 刺激性なし(OECDガイドライン)から、区分外とした。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	アルカリ性であるため、経験上、眼を激しく刺激する。
呼吸器感受性又は皮膚感受性	ウサギ 強い刺激性があり、結膜炎の発生(OECDガイドライン)このことから、区分2Aとした。強い眼刺激(区分2A)
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器・全身毒性・単回暴露	イヌ、モルモットの吸入ばく露試験において、気管支収縮の発生が認められた。また、ヒト、モルモットで咳の発生の報告がある。以上の事から、区分3(気道刺激性)とした。
特定標的臓器・全身毒性・反復暴露	ラットの経口ばく露試験で、2260mg/kg/dayを6週間ばく露(90日補正値:g/kg/day)で影響なく、2年間経口ばく露試験のNOAELは、1200mg/kg/day、さらに1.2%/kg/day)1年間経口ばく露でもほとんど悪影響はなかったことから、区分外とした。
吸引性呼吸器有害性	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

Fish LC50 (48h)	440mg/L
D.Magna LC50 (24h)	1535mg/L
Algae (8d mat.(normal) based on cell density)	425mg/L
残留性/分解性	: 生分解性
生態蓄積性	: 情報なし
土壤中の移動性	: 情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃製品、廃容器の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
国内規制や地方条例に従う。
許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。
洗浄水などの処理は、地面や排水溝へそのまま流さず、凝集沈殿法、活性汚泥法等による。

汚染容器及び包装

空容器を破棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報

該当しない

国際規制

該当しない

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

直射日光を避け、輸送前に容器の破損、腐食、漏れなどないことを確かめる。
転倒、落下、損傷の無いように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

15. 適用法令

労働安全衛生法	該当しない
消防法	該当しない
科学物質管理促進法	該当しない
毒物劇物取締法	該当しない
化審法	該当しない
水質汚濁防止法	生活環境項目(施行令第三条第一項) 「水素イオン濃度」 [排水基準]・海域以外の公共用水域に排出されるもの5.8以上8.6以下 ・海域に排出されるもの5.0以上9.0以下 「生物化学的酸素要求量及び科学的酸素要求量」 [排水基準]160mg/L以下(日間平均120mg/L以下)

16. その他の情報

本製品に当社が認めた材料以外のものを混合したり、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用するときは、使用者において安全性を確認してください。また、本データシートに記載のデータは保証値ではありません。記載内容は、作成時また改訂時において、製品及びその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱い情報)を集めて作成しておりますが、全ての情報をもうらしたのではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂いたします。

本文書の記載の内容は我々の最善の知見に基づくものですが、情報の正確さ・完全性を保証するものではありません。

